

## シリーズ 4 機種目、フラットパネル検出器搭載の アームレス型透視撮影システム“CONCORD”の発売

2004 年 03 月 04 日

各 位

株式会社 日立メディコ  
執行役社長 猪俣 博

(株)日立メディコ(本店所在地:東京都千代田区、執行役社長:猪俣 博、資本金:138 億 8 千 4 百万円)はフラットパネル検出器(以下、「FPD」と言います。)を搭載したアームレス型透視撮影システム“CONCORD(コンコード)”を発売致しました。

従来、透視撮影装置は消化管検査を主体に使用されてきましたが、検査の多様化が進むにつれ、多目的検査を行うために、術者が患者様の両サイドで作業できる透視撮影装置が求められていました。

“CONCORD”はアームレス型透視撮影システムという X 線管球と寝台が分離・独立した当社独自のシステムです。支柱のない天井走行式であることから、大きなワークスペースを確保でき、多方向からの透視・撮影及び患者様の両サイドでの施術を行うことができます。

よって、内視鏡検査や救急患者への対応など多くの検査に効果を発揮します。

当社は現在までに 3 機種の FPD を搭載した透視撮影装置を市場に提供してきました。今回発売する装置は当社の提供する 4 機種目の FPD 搭載 X 線装置であり、目的に応じて製品を選択していただくことができます。

### 1. 本装置の主な特長

- (1) 大きなワーキングスペースと両サイドからの施術  
X 線管球と寝台が分離・独立しているため、大きなワークスペースを確保できるだけでなく、患者様の両サイドで施術を行うことができます。
- (2) 施術に適した天板高  
最低天板高が床面から 62cm と低いため、女性や小児でも天板への乗降が容易に行えるうえ、術者の行いやすい高さで施術を進めることができます。
- (3) 一般撮影装置としての利用  
X 線管球が寝台と分離・独立しているため、立位ブッキー装置と組合わせて一般撮影装置としても使用できます。  
※立位ブッキー装置:立位用一般撮影台
- (4) 大きな検出器による撮影  
大視野 FPD(約 40cm×30cm)を搭載しているため、腎臓・膀胱・尿道を 1 画像内に表示できるなど、広範囲を歪みなく計測することができます。
- (5) 高い画像処理技術  
FPD の特長を最大限に活かすために、撮影部位に応じた最適な表示階調を自動設定する機能や、高濃度部分の視認性を高める機能、最も良い透視条件・撮影条件を設定する機能など、質の高い透視像と撮影像を提供できる最新の画像処理技術を搭載しています。
- (6) データの管理保存  
画像データは、信頼性が高く、大容量(72GB)の高速磁気ディスクにリアルタイムで記録されます。また、画像データの保管はコストパフォーマンスの高い DVD-RAM(9.4GB)に記録・管理します。
- (7) 有効な検索機能  
目的画像の検索は 4 種類のキー(氏名、ID、年月日、撮影部位)を使用し、迅速・容易に検索できます。過去画像との比較を行う場合、たいへん有効です。

2. 発売時期: 2004年2月

3. 価格: 2億3千1百万円(税抜 2億2千万円)

4. 初年度販売台数予定: 20台

【このニュースのお問い合わせ先】

総務部 広報担当: 西田、杉原 製品担当: 久芳、小田

〒101-0047 東京都東京都千代田区内神田一丁目1番14号(日立鎌倉橋別館)

TEL 広報担当: 03-3291-6391

製品担当: 04-7131-4163

URL: <http://www.hitachi-medical.co.jp/>